

ひょっ ところじいちゃん

桜川市立大國小学校 五年 増次 良来

ひょっ ところじいちゃん。これは、私のおじ

いちゃんのことです。ひょっ ところに顔が似て

いるわけではありません。豆しぼりでほっか

むりをして、米作りをしているから、ひょっ

ところじいちゃん。

ひょっ ところじいちゃんは、私が小さい頃か

らいつもこのスタイル。他の手ぬぐいを使っ

ているところは見たことがありません。どう

して豆しぼりなんだろうと思っ ていたところ

父が、おじいちゃんちゃんの豆しぼりにはヒミツが

あることを教えてくれました。

「豆しぼりは、水玉模様が豆のように見える

ことに由来する緑起の良い柄なんだよ。豆

は一粒まくとたくさん実がなるから、きっ

と、稲のお米もたくさん実りますように。

と、おじいちゃんちゃんの願いが込められている

んだね。」

と、話してくれました。私は、

「なるほど。そうだったんだ。」
と納得しました。

お米の時期、朝早くからひよっ　　とこじいち
　　やんの一日が始まります。ひよっ　　とこじいち
　　ゃんは、苗を育てるとき、雨の日も風の日も
大切に大切に苗を育てています。風が吹けば、
風から苗を守るためにハウスを閉めたり、気
温が高いときには、ハウスを開けて、苗の様
子をよく見て水をあげたり、元気がないとき
には肥料をあげたりと、色々なことをしてあ

げます。まるで子どものお世話するみたい
丁寧な、色々なことを考えて育てています。
腰をかがめて、じつくりと苗と向き合っ
る様子は、まるで子ども達に視線を合
わせてやさしく話しかけているみたいです。

最近、私も田植えを手伝うようになりまし
た。ひよっ　　とこじいち　　ゃんが育てた苗たちを
軽トラックに乗せたり、下ろしたり、苗箱か
ら外してクルクル丸めたりします。ひよっ　　と
こじいち　　ゃんはニコニコとても嬉しそうです。

元気いっぱいの青々した苗が田んぼに整列した様子は圧感です。その後も毎日、ひよっことこじいちゃん、田んぼに通って苗達の様子を見守ります。そしていよいよ稲刈りの日。りっぱに育った稲達を嬉しそうに刈っています。お米作りはとても大変です。でもひよっことこじいちゃんは苗たちの成長を微笑ましく見守り、楽しそうに作っています。ひよっことこじいちゃん、すごいなと思います。

ひよっことこじいちゃんが大切に育てたお米は、甘くて優しい、ふっくら、ほんわり、あたたかい味がして、私は大好きです。

最近、ニュースでお米不足ということが話題になっていました。私が毎日こうしてお米をお腹いっぱい食べられているのはひよっことこじいちゃんのおかげだなと思いました。

ひよっことこじいちゃんに感謝し、お米を作る大変さ、食べられることの喜びをかみしめながら、毎日お米を一粒残さず食べようと思います。ひよっことこじいちゃん、ありがとう。